

株主優待

保有株式数100株以上の株主様に、
ご優待として株主優待券を年2回贈呈しております。
ヴィア・グループが全国で展開するすべての店舗で
ご利用いただけます。

店舗でご利用いただけない株主様につきましては、
株主優待券と交換できる商品をご用意しております。

● 対象となる株主様

各事業年度3月末日および9月末日時点において株主名簿に記載された株主様(年2回)

● ご優待内容

保有株式数1,000株を上限に、100株ごとに優待額を設定
(年2回実施。有効期間は6ヵ月)



保有株式数	株主優待券
100株	2,500円相当の株主優待券 (年間 5,000円相当)
200株	5,000円相当の株主優待券 (年間10,000円相当)
300株	7,500円相当の株主優待券 (年間15,000円相当)
400株	10,000円相当の株主優待券 (年間20,000円相当)
500株	12,500円相当の株主優待券 (年間25,000円相当)
600株	15,000円相当の株主優待券 (年間30,000円相当)
700株	17,500円相当の株主優待券 (年間35,000円相当)
800株	20,000円相当の株主優待券 (年間40,000円相当)
900株	22,500円相当の株主優待券 (年間45,000円相当)
1,000株以上	25,000円相当の株主優待券 (年間50,000円相当)

株主優待券と交換できるウレシイ商品、43アイテム！

お近くに店舗がないなど、お食事券のご利用が難しい株主様のために、株主優待券と交換できる商品を、43アイテムをご用意しております。
(写真は代表的な商品のイメージです。交換商品の内容は別途ご案内いたします。)



 <http://www.via-hd.co.jp/via/ir/preferential.php>

株式会社 ヴィア・ホールディングス

〒112-0014 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F

TEL: 03-5155-6801



VIA HOLDINGS INC.

株式会社 ヴィア・ホールディングス

第76期 事業報告書

2011年4月1日～2012年3月31日



証券コード 7918

JASDAQ
(証券コード 7918)

外食サービス事業スタートから 10年間の“軌跡”

—お客様の喜びと感動を創造するために—

当社は、2001年9月に焼き鳥居酒屋のフランチャイズ店をスタートしてから、わずか10年間で多種・多様な外食サービス事業ネットワークを創り上げ、店舗数は520店まで拡大することができました。

その原動力となったのはお客様の満足・笑顔を創りたいと願う想いです。

今後も従業員一丸となり、溢れる情熱と創造力で、

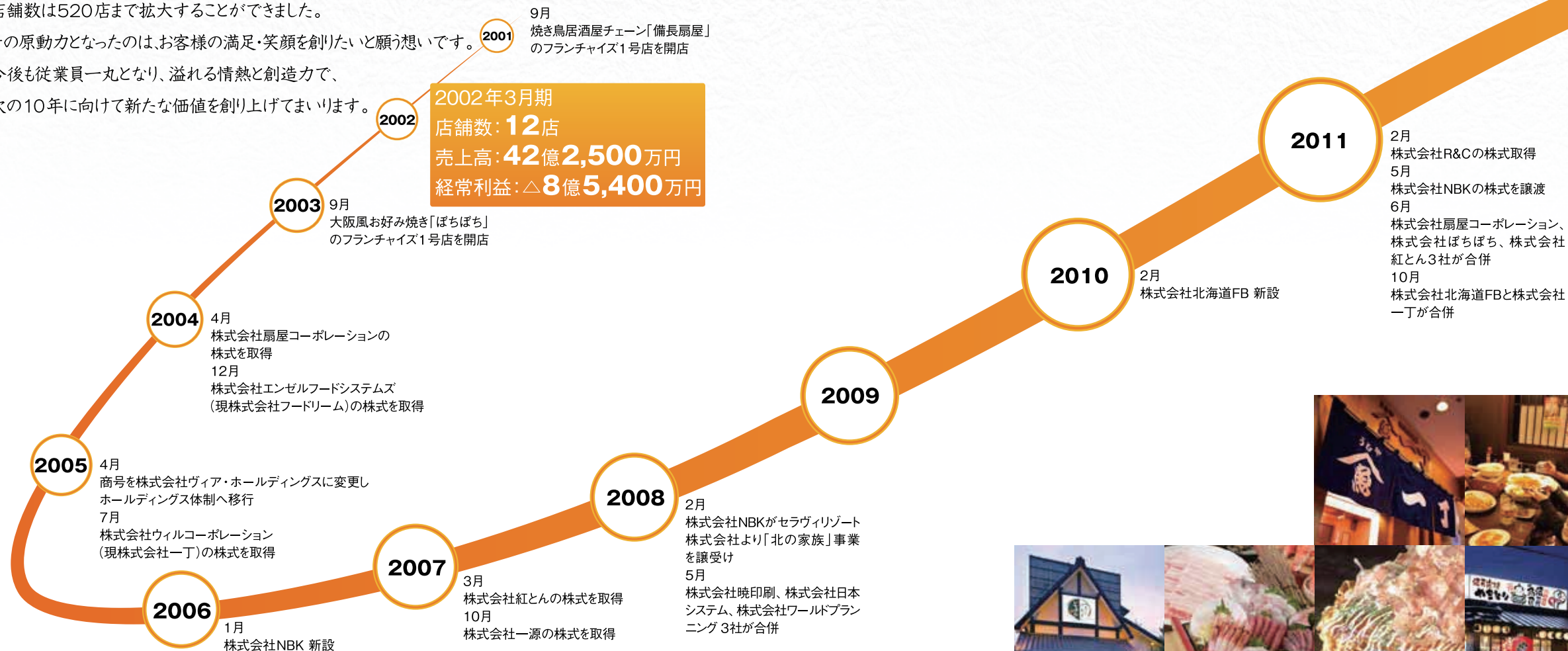
次の10年に向けて新たな価値を創り上げてまいります。



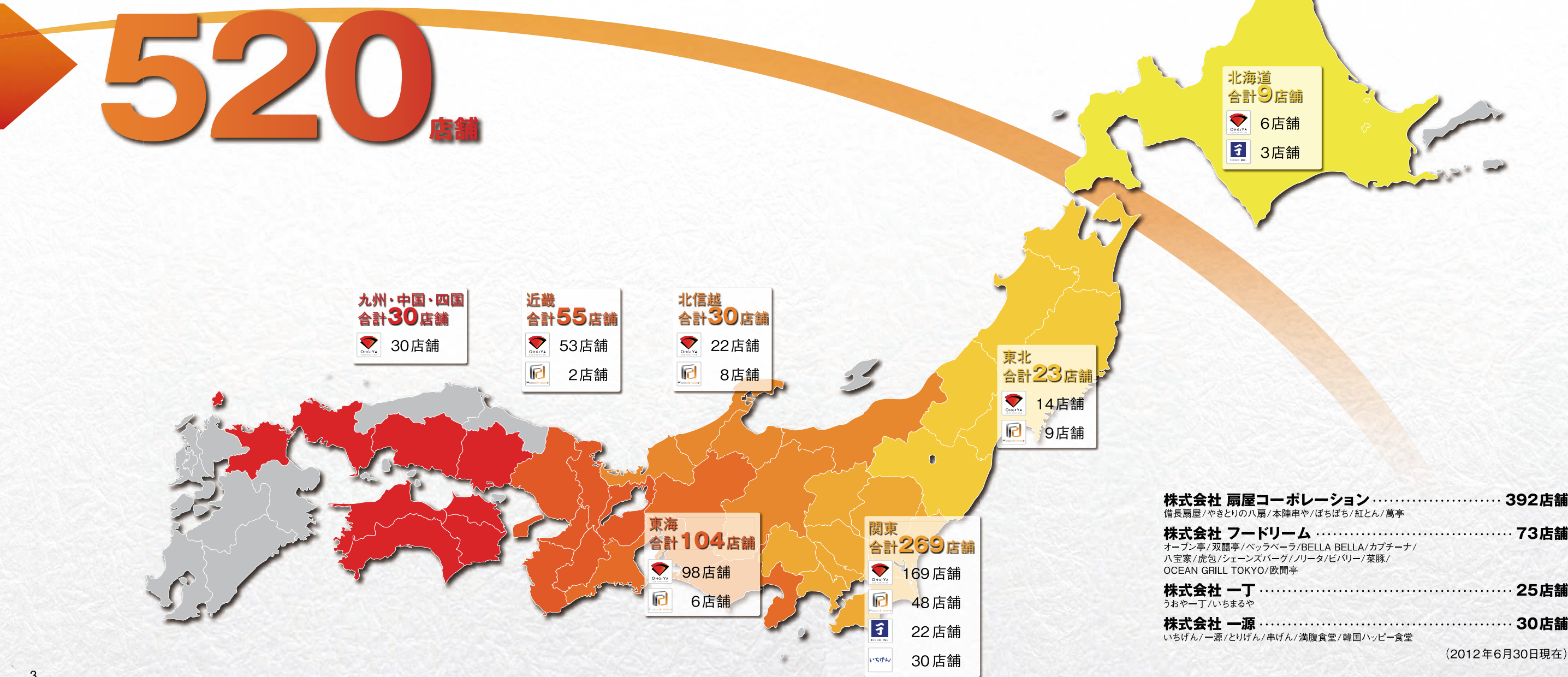
2012

2012年3月期
店舗数: **520**店
売上高: **297億6,700**万円
経常利益: **10億9,600**万円

1月
株式会社R&Cと株式会社一丁が合併



私たちヴィア・グループの想いは、日本全国に広がっています。



株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、日ごろより格別なるご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年発生した東日本大震災において、被災地の日も早い復興を心からお祈りするとともに、当社グループは継続的な復興支援を行なってまいります。

第76期 事業の概況について

2012年3月期(第76期)の業績は東日本大震災以降、節電意識の高まりをはじめとする自粛ムードといった生活行動様式の変化の影響を強く受けたことに加え、連結子会社であった株式会社NBKの株式譲渡により、売上高は減少しましたが、コストの継続的な削減の効果もあり、営業利益は大幅に向上いたしました。

一方で、のれんおよび固定資産の減損損失を計上したことにより、当期純損失は15億3千9百万円となりました。

当社グループでは、「既存事業のバリューアップによる基礎収益力の向上」「本部機能の集中化による価値競争力の向上」「内部統制の推進によるマネジメント力の向上」の3つを基本戦略として収益体質の強化策を進めております。

具体的には、店舗を取り巻く個々のマーケットの変化に対応するためリニューアルを行なうほか、店舗オペレーションを磨き込み、店舗の付加価値の向上を図りました。

コスト削減策としてはグループの規模を活かした購買単価の見直しと、販管費コストの継続的な削減を進めてまいりました。

不採算店舗の対策については、新メニューの投入などを進める一方で、キャッシュ・フローの確実な改善が見込めない店舗については、早期撤退による収益対策も実施いたしました。

これらの取り組みにより、収益体質は大きく改善することができました。

また、2011年9月には、重要なお取引先様であるアサヒビール株式会社様より、優先株式の発行に基づくご出資をいただくとともに、新たに中期経営計画を策定するなど当社グループにとって新たなスタートとなる節目の一年となりました。

今期の見通しについて

2013年3月期(今期)は中期経営計画を確実に遂行し、堅実な経営を進めてまいります。

引き続き安定した収益が確保できるよう収益体質の改善に取り組むことに加え、QSCA(Quality(クオリティ)、Service(サービス)、Cleanliness(クリンリネス)、Atmosphere(アトモスフィア)の頭文字を取った外食産業での価値を表す概念)をさらに強化することで、より多くのお客様に再来店していただける店舗づくりを目指し、確固たる営業ブランドを構築することで既存店の売上高回復を目指してまいります。新規の出店投資については、厳選した立地に「備長扇屋」と同等規模の店舗を15店前後をめどに出店してまいります。

また、リニューアル投資についても案件に応じた投資回収基準を定めたうえで、収益の拡大が見込める店舗からプライオリティ管理を行なった投資をしてまいります。

投資基準と撤退基準については、中期経営計画の策定と同時に厳格化を図っており、収益体質の強化と、投資効率の向上を実現するため、継続的なモニタリングを実施してまいります。

株主の皆様への利益還元について

当社は、株主の皆様への直接的利益還元として業績に連動した継続的な利益配当を重要な経営課題の一つとして位置付けております。

しかしながら、当期においては、のれんおよび事業用固定資産の減損損失を計上したことなどにより、普通株式の配当については、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

可能な限り早期に、普通株式の継続的かつ安定的な配当を実施できるように努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長

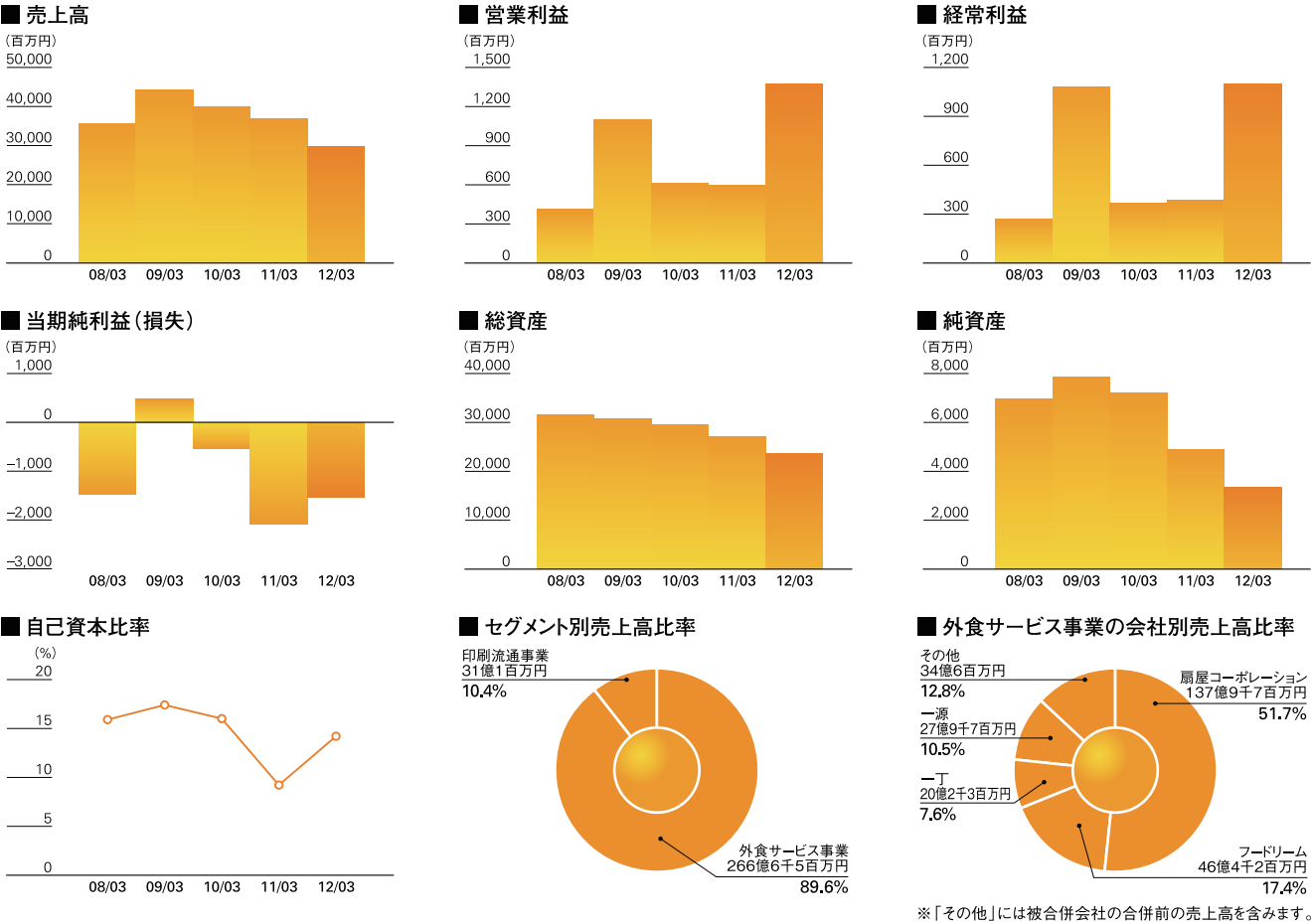
代表取締役社長

横川紀夫 大場典彦

業績ハイライト

— 過去最高の営業利益を達成いたしました —

- 「北の家族」を展開する株式会社NBKが連結子会社でなくなったことや不採算店舗の閉店等により、店舗数は57店舗減少し、売上高は297億6千7百万円（前期比19.1%減）となりました。
- コスト削減をはじめとする収益体質の改善への取り組みが奏功したことにより、営業利益は過去最高益の13億7千5百万円（前期比130.8%増）となりました。
- のれんおよび固定資産の減損損失27億4千1百万円を計上したことにより、当期純損失は15億3千9百万円（前期比5億4千万円減）となりました。



社長インタビュー



事業を通じて
社会に
貢献し続ける
企業グループへ

Q 外食サービス事業に参入して10年間が経過しましたが、大場社長にとってどんな10年でしたか。

A 当社は、居酒屋をはじめとした外食サービスを新たな事業の核とするため、国内でのM&Aを戦略の中心に据え、店舗ネットワークの拡大を推し進めてきました。ヴィア・グループはこの10年で業界に存在感を示す組織になれたのではないかと考えています。

私は入社以来、株式会社扇屋コーポレーションをはじめ各事業会社の社長を歴任してまいりました。大切にしてきた

のは、現場の声を聴くことです。現在520店舗を日本全国で展開していますが、当社は役職員とともに各店長も経営者として一体となって創り上げた組織と捉えています。そのためできる限り全国の店舗に足を運び、店長に経営者としての理念や原理原則を伝えました。一方で現場にある知恵を集め、経営に活かすことも私の仕事でした。2009年に株式会社ヴィア・ホールディングスの社長に就任してからは実際に足を運ぶ機会は減りましたが、当時の店長の活躍を見聞きするたびに、確固たる人財集団として一步一步前進していることを実感しています。



昨年の東日本大震災では、一部の店舗が被災しました。被災地の復興に向けた想いと取り組みをお聞かせください。



当社の被災店舗やお客様をはじめ、被災された多くの方々に今なお、影響が残っています。当社は事業を通じた長期的な支援が必要と考え、店舗での募金活動と併せて、ご利用いただいたお客様1名様につき1円の支援金を被災地へお送りする「私たちにできることプロジェクト」を開始しました。10年間で2億円の寄付を目指しており、寄付金は、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンを通じて主に子供たちの教育・医療福祉などに役立てていただきます。また、昨年に引き続き、ご利用金額500円につき50円を寄付する「東日本大震災・復興支援 特別ご優待券」を株主様へ贈呈し、継続的な被災地への復興支援を行なっています。



事業を行なううえで重視している点、独自のこだわりを教えてください。



「備長扇屋」に代表される当社店舗の多くが1990年代後半以降のデフレ期に生まれた小型専門店の業態です。損益分岐点を引き下げること、不況期に

も動じない強い収益体質を創り上げてきました。ただ、コスト低減を進めるとしてもお客様に提供する食材の安全を疎かにしては意味がありません。安全・安心を謳いながら偽ることは絶対にあってはなりません。お客様の安全・安心を確保するためのコストは削減をしないこと、その姿勢が重要であると考えます。当社はお客様に喜びや楽しさを感じていただくために、正しい価値観やスタンダードを貫くことにこだわりを持ち、衛生管理を含め従業員の教育に力を入れています。お客様が直接口にする食材の産地や安全性に決して妥協しない、このこだわりがお客様に満足していただくための大前提であると考えています。



その他のこだわりについてはいかがでしょう。



商品面では、お客様のニーズを捉えたメニューを開発することです。具体的な取り組みとして、昨今のヘルシー志向に応え、大豆から作られたお肉を使用したベジミートのメニュー（ベジメニュー）を開発しました。ベジメニューをご注文いただくと、その代金の一部を食事に恵まれない子供たちへの食糧支援と食育啓蒙活動に寄付できる「ヒューマン・アース・プロジェクト」を展開しています。この取り組みが評価され、「第20回 優良外食産業表彰 商品開発部門 農林水産大臣賞」を受賞しました。お客

様からは当社の活動趣旨にたくさんのご賛同をいただき、店舗で多くのご注文をいただいています。

また、サービス面でもお客様の喜びや感動を常に意識しています。都心部の大型居酒屋では震災以降、宴会需要が減少しましたが、会社の同僚や仲間と、お酒や料理を味わいながら楽しいひとときを過ごしたいと願うお客様は少なくありません。2011年12月から2012年3月にかけて一部の店舗で餅つきイベントを行なったところ、お客様からは記憶に残る楽しい宴会だったとご好評をいただきました。



大場社長にとって仕事の原動力、励みにされていることは何ですか。



お客様の喜ぶ姿を見たいという想いです。ご来店されたお客様からお褒めの言葉やメールを頂戴すると、感謝の気持ちとともにそのご期待に身が引き締まる思いがします。「仕事を通じて人を幸せにする、社会に貢献する」、これは明治生まれの祖母から子供のころに教わった言葉ですが、仕事を楽しむための私の原点です。仕事で課題に直面したときには祖母の言葉を思い出し、自分に期待される使命を意識して課題解決に向けて取り組んでいます。



最後に今後の事業戦略についてお聞かせください。



印刷流通事業については、今後一層既存のお取引先様との関係強化を進めるとともに、外食サービス事業については、国内にとどまらず、今後は海外企業とのパートナーシップを視野に、アジアを中心とした海外での事業展開を目指します。特に中国や台湾、東南アジア諸国は国民の平均年齢も若く、経済的にも活力に溢れ、日本の食材の生産地でもあります。昨今「地産地消」が言われるように、海外においても生産地イコール消費地になりえると考えています。現在、日本食文化をユネスコの無形文化遺産に登録するプロジェクトが動き出しています。当社は江戸時代から続く焼き鳥をはじめ、刺身やお好み焼きといった日本食の業態を多数持っていますので、もっと世界に広めていきたいと考えています。火を中心に皆で食卓を囲むことは人間の原点です。私は日本食文化を世界に発信することで、宗教や文化の違いを越えた新たな価値やつながりを創造するお手伝いができると確信しています。



グループ会社紹介

「感動を糧に」、「常に挑戦し続け」、「お客様の喜び」を目指して、ヴィア・グループは日々変化し続けます。

ヴィア・グループは、2005年4月にホールディングス体制に移行し、現在の経営体制を確立いたしました。

外食サービス事業と印刷流通事業を両輪として、堅実かつ大胆に業績を拡大してまいります。

経営理念の「心が響き合う価値の創造」に基づき、

「喜びと感動」に満ちた新しい価値を創造するため、リノベーションに挑戦し続けます。



備長扇屋 富士中央店 寺内店長
小さな改善と工夫の積み重ねで、お一人様から家族連れのお客様まで、より居心地がよく、暖かい雰囲気のお店を目指しています。一本いっぽん心を込めて焼いた、こだわりの焼き鳥をぜひ味わいにいらしてください。



株式会社 扇屋コーポレーション

2011年6月1日に、株式会社 扇屋コーポレーション、株式会社 紅とん、株式会社 ぼちぼちの3社が合併しました。このたびの合併は、グループ内の小規模店舗(30坪クラス)の各業態が合併することにより、多様化するマーケットの特性に合った効果的な出店や、食材購買力・物流等のスケールメリット追求を目的としています。また、本部機能を効率化することにより、間接コストの低減を目指しています。焼き鳥居酒屋「備長扇屋」、お好み焼き居酒屋「ぼちぼち」、新鮮和豚の炭火串焼き「紅とん」を主力に、392店舗を34都道府県に展開しています。

<http://www.via-hd.co.jp/o-giya/>



BELLA BELLA 大崎店 伊藤店長
一人でも多くのお客様に「BELLA BELLA」の本格イタリアンをお楽しみいただきたいと思い、お客様を笑顔でお迎えすること、提供スピードの向上とクオリティの維持を心がけています。



株式会社 フードリーム

株式会社 フードリームは、大手スーパー・ショッピングセンターなど、飲食店の集積地を主要な事業拠点として、パスタやオムライスを中心とした洋食レストラン「オーブン亭」、自家製小龍包と本格中華が気軽に味わえる中華レストラン「虎包」、イタリアン小皿料理を楽しむ洋風居酒屋「BELLA BELLA」を主力に、73店舗を展開しています。当期は事業課題である損益構造改革を成しえ、最高益の更新を果たしました。今期はその基盤をもとに、今後5年間で100店舗体制を実現すべく、さらなる「人財力の強化」と「サービスカ・商品力の品質向上」に努めてまいります。

<http://www.via-hd.co.jp/foodream/>



うおや一丁 新宿西口店 高山店長
お客様に提供する料理は、味、鮮度はもちろんのこと、盛り付けやサービスも重要な要素です。女性や宴会ご利用のお客様、さまざまなお客様にご満足いただけるよう、調理長をはじめ、従業員の強いチームワークでお客様をお迎えします。



株式会社 一丁

株式会社 一丁は、北海道を主として各地の港から旬と鮮度をテーマに海の幸を取り揃えた、刺身居酒屋「うおや一丁」と、少人数から団体様に対応した個室を持つ、うまいもん市場「いちまるや」の25店舗を5都道県に展開しています。「うおや一丁」は、日本の誇る「築地市場」を再認識しさらに「新鮮・うまい」にこだわり続けていきます。「いちまるや」はバラエティ感溢れるメニュー開発に重きを置き、さまざまなシーンでご利用がいただけるようなお店作りを進めてまいります。

<http://www.via-hd.co.jp/iccho/>





いちげん 新座店 伊藤店長
お客様のさまざまなニーズに対応するため、和・洋・中の料理からお子様向けまで幅広いメニューをご用意しています。ご宴会は昼も夜も承っておりますので、お集まりの際には、ぜひご利用ください。



いちげん

株式会社 一源

株式会社 一源は、埼玉・千葉・東京の駅前立地を中心に30店舗を展開しています。主力業態の「食彩厨房いちげん」は和・洋・中のバラエティに富んだメニュー構成と最大100名様に対応可能のお座敷席が好評で、幅広い層のお客様にご利用いただいております。また、お一人様でも気軽に立ち寄れる昔ながらの焼き鳥屋「とりげん」、早い・安い・うまいがモットーの串揚げ屋「串げん」、ボリュームあるガッツリ定食が自慢の「満腹食堂」、ソウルの街並みをリアルに再現し本場の料理を味わえる「韓国ハッピー食堂」など新しい業態にも取り組んでいます。

 <http://www.via-hd.co.jp/ichigen/>



AKATSUKI PRINTING

株式会社 暁印刷

株式会社 暁印刷は、約80年にわたり安定したお取引先様と共に印刷事業を展開してまいりました。書籍・雑誌から商業印刷物まで多分野にわたる印刷物を、自社工場を中心とした組版から製本までの一貫生産体制のもと、高品質な商品を低コストかつ迅速にお届けできることを強みとしています。また、早期から着手してきたデジタル事業においては、今後拡大が予想される電子書籍市場に向け他社に先んじて生産体制を整え、先駆者としての事業展開を進めています。

 <http://www.via-hd.co.jp/akatsukiprinting/>



トピックス

「第20回 優良外食産業表彰 商品開発部門 農林水産大臣賞」を受賞



ヴィア・グループでは、大豆から作られたお肉（ベジミート）を使ったメニュー（ベジメニュー）を開発。ベジメニューを店舗で注文いただくか、お料理の持ち帰り用バッグをご購入いただくと、食事に恵まれない子供たちに食事代を寄付できる「ヒューマン・アース・プロジェクト」を展開しています。この取り組みが評価され、2012年3月、「第20回 優良外食産業表彰 商品開発部門 農林水産大臣賞」を受賞しました。ヴィア・グループは今後とも、食の事業を展開する企業として、地球と人の今と未来のために、工夫してできるさまざまな活動に取り組んでまいります。

被災地への継続的な復興支援を実施



「私たちができることプロジェクト」では、店舗をご利用のお客様1名様につき1円の支援金を被災地へお送りしています。また、昨年株主様にお贈りした、「東日本大震災・復興支援 特別ご優待券」は割引と寄付が一体となったことで大変ご好評をいただきました。上記取り組みに店頭募金を合わせたグループ全体の寄付金額の総額は、24,443,161円となりました。

 <http://www.via-hd.co.jp/via/csr/index.php#EastJapanEarthquake>

第三者割当による新株式を発行

2011年9月30日に第三者割当による当社A種優先株式2,400株をアサヒビール株式会社に発行。24億円の資金調達を行いました。重要なお取引先様である同社とのパートナーシップを一層強化し、収益体質のさらなる強化を果たすことで、株主様のご期待に応えてまいります。

店舗戦略の取り組み 成長マーケットに新規出店した店舗が好調



2012年2月「備長扇屋」武蔵浦和店が新規にオープンしました。同業態でも首位を争うほどの売上高を維持しています。

ボリュームのあるマーケットの大型店での店舗効率向上



マーケットを深耕することを目的として2011年に続き大型店舗（「いちげん」西船橋店）を分割し、業態ミックス（「備長扇屋」を出店）を行ないました。

マーケットの変化を捉えた業態転換により、 売上高が格段に上昇



カジュアルイタリアンのお店であった「BELLA BELLA」北千住店を洋風居酒屋に業態転換。変化したマーケットを的確に捉え、継続して売上を大きく伸ばしています。

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表			（単位：百万円）	
	前期末	当期末		
科目	2011年3月31日	2012年3月31日		
資産の部				
流動資産	2,860	6,057		
固定資産	24,148	17,459		
繰延資産	0	15		
資産合計	27,009	23,531		
	前期末	当期末		
科目	2011年3月31日	2012年3月31日		
負債の部				
流動負債	12,135	6,205		
固定負債	9,981	13,985		
負債合計	22,116	20,190		
純資産の部				
株主資本	2,619	3,483		
その他の包括利益累計額	△127	△142		
少数株主持分	2,400	－		
純資産合計	4,892	3,340		
負債純資産合計	27,009	23,531		

連結損益計算書			（単位：百万円）	
	前期	当期		
科目	2011年3月31日	2012年3月31日		
売上高	36,802	29,767		
売上原価	12,956	10,675		
売上総利益	23,846	19,091		
販売費及び一般管理費	23,250	17,716		
営業利益	595	1,375		
営業外収益	197	126		
営業外費用	405	405		
経常利益	387	1,096		
特別利益	191	620		
特別損失	2,316	3,055		
税金等調整前当期純損失（△）	△1,737	△1,338		
法人税、住民税及び事業税	104	88		
法人税等調整額	239	113		
少数株主損益調整前 当期純損失（△）	△2,080	△1,539		
当期純損失（△）	△2,080	△1,539		

連結キャッシュ・フロー計算書			（単位：百万円）	
	前期	当期		
科目	2011年3月31日	2012年3月31日		
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,619	2,580		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,099	444		
財務活動によるキャッシュ・フロー	363	566		
現金及び現金同等物の増減額 （△は減少）	△116	3,591		
現金及び現金同等物の期首残高	922	805		
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	－	△249		
現金及び現金同等物の期末残高	805	4,148		

会社概要CORPORATE IDENTITYコーポレートアイデンティティ



シンボルマーク

人類の叡智の結晶「ピラミッド」をモチーフに、「総合力」「結束力」「永遠性」「上昇」「大志」を表現しています。

またシンボルカラーの

V：「ブラック」は「宇宙＝秩序、創造」を、
I：「レッド」は「心＝情熱、思いやり」を、
A：「ブルー」は「水＝生命、知性」を象徴しています。

ネーミング

VIAとは、「Valuable & Imaginative Addition」の頭文字の略称です。直訳すると「価値の高い、創造力に富んだ付加」、言い換えれば「世の中により新しい価値を創造していく」という意味を表しています。

またVIAという言葉は、英語で「～經由で、～を媒介として」という意味を、ラテン語で「道」という意味を持ちます。

これらの意味を合わせて、VIAという社名に「私たち独自の力を通して、世の中により新しい価値を創造し、未来への道を切りひらいていく」という意志を込めています。

GROUP PHILOSOPHY（グループ理念）

心が響き合う価値の創造

◆私たちは、卓越した先見力とマネジメント力により、グループ企業の専門力を相互に高め、ノウハウを統合し、革新的なライフカルチャーの創造を推進します。

◆私たちは、顧客の「心のニーズ」に応え、喜びと感動に満ちた新しい価値のイノベーションに果敢に取り組みます。

◆私たちは、創造力・自立心・情熱を中心とした「人間力」を最も大切な資産と位置づけ、その力が最大限に成長・発揮できる環境をつくります。

GROUP MISSION（グループミッション）

◆私たちは、顧客満足の最大化を第一の目的とします。

◆私たちは、オープンで公正な企業カルチャーの構築を通して、社員の生きがいや幸せの実現に努めます。

◆私たちは、取引先と公正で健全な関係を築き、お互いの大いなる成長を目指します。

◆私たちは、偽りのない情報の公開や安心・安全の確保、環境保護への配慮など、確固とした企業倫理を確立し、社会の一員としての責務を果たします。

◆私たちは、株主に対する利益還元の増大と、株価の維持、上昇に努めます。

会社概要（2012年3月31日現在）		役員（2012年3月31日現在）	
商 号	株式会社ヴィア・ホールディングス VIA HOLDINGS INC.	代表取締役会長	横川 紀夫
所 在 地	〒112-0014 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F TEL: 03-5155-6801	取締役副会長	三甲野隆優
代 表 者	横川 紀夫	代表取締役社長	大場 典彦
設 立	1948年2月26日	取 締 役	佐伯 浩一
資 本 金	27.6億円	取 締 役	伊藤 誠
従業員数	29名	取 締 役	能仁 一朗
		取 締 役	今井 将和
		取 締 役	高田 弘明
		常 勤 監 査 役	正部 一行
		監 査 役	河村 博旨
		監 査 役	岩村 誠之
		監 査 役	片桐 正昭

当社グループの従業員数		
事業の種類	従業員数	
外食サービス事業	513名	(2,195名)
印刷流通事業	104名	(27名)
その他	29名	(2名)
合計	646名	(2,224名)

※ 従業員数には、使用人兼務取締役は含まれておりません。
※ 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数(契約社員、準社員)は1日8時間換算による年間の平均人員を()外数で記載しております。

株式の状況

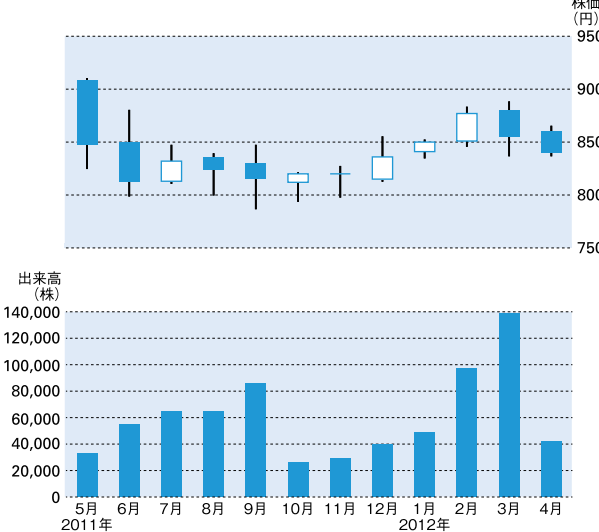
株式の状況 (2012年3月31日現在)

発行可能株式総数		80,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	24,319,700株
	(自己株式2,426株)	
	A種優先株式	2,400株
株主数	普通株式	3,677名
	A種優先株式	1名
1単元の株式数		100株

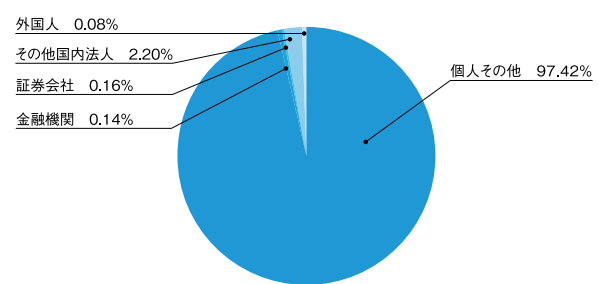
大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
横川紀夫	3,555,000	14.62
アサヒビール株式会社	普通株式	3,192,000
	A種優先株式	2,400
	計	3,194,000
株式会社J・M・T	2,071,800	8.52
株式会社HSM	1,879,900	7.73
株式会社W&E	1,875,000	7.71
株式会社エム・ティ・ケイ	1,546,000	6.36
株式会社エス・エイチ・コーポレーション	1,177,200	4.84
株式会社大光	955,000	3.93
大関株式会社	615,000	2.53
株式会社イフ	380,000	1.56

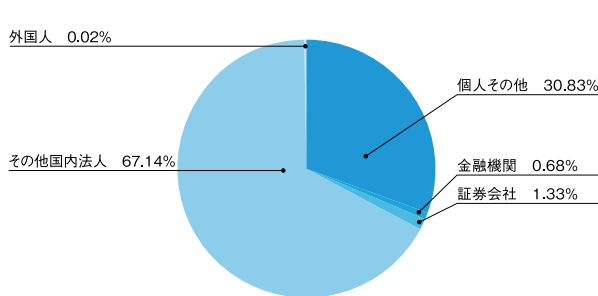
株価および売買高の推移



所有者別株式分布状況



所有数別株式分布状況



	株主数 (名)	株主構成比率 (%)	持株数 (株)	出資比率 (%)
個人その他	3,582	97.42	7,497,935	30.83
金融機関	5	0.14	165,300	0.68
証券会社	6	0.16	323,965	1.33
その他国内法人	81	2.20	16,328,400	67.14
外国人	3	0.08	4,100	0.02

※「個人その他」には、自己株式2,426株を含めております。
※普通株式分のみ記載しております。

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月開催

基準日

毎年3月末日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

0120-176-417（フリーダイヤル）

インターネットホームページURL

http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法

当社のホームページに掲載します。

上場証券取引所

大阪証券取引所（JASDAQ市場）

ホームページのご案内

当社ホームページではIR情報のほか、ヴィア・グループに関する最新情報をリアルタイムで公開しております。ぜひご覧ください。
また、モバイルサイトでは店舗検索やポイントキャンペーンなど、お得な情報を満載しております。併せてご活用ください。

株式会社ヴィア・ホールディングス

ホームページ

http://www.via-hd.co.jp

IR情報

http://www.via-hd.co.jp/via/ir/

モバイルサイト MOVIA



新規登録はこちら



QRから空メールを送信

会員の方はこちら



MOVIAマイページへ